

SHIRAKOBATO

# しらこぼと



1987. 10

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO.41

日本野鳥の会 埼玉県支部

# 探鳥会の前の裏 話します

福井 恒人 (浦和市)

探鳥会のリーダーを見て、あなたはどんなことを考えますか。カッコいいな、なんて考えてくれる人はいないでしょうね。私ならこうやるのに、ドジだな、などなど、いっぱい聞こえてきそうです。すみません。ご不満もありませんが、リーダーも、いろいろ努力はしているのです。今回は探鳥会のずっと前の段階、最初のコース選びの苦労話です。

## 秩父でコースさがし

探鳥会の必要条件は、①鳥がいること、はもちろんだが、それだけではなく、②コースに危険な場所がないこと(安全性)、③集会所と解散場所の交通の便の確保、④通常は2～3時間の所要時間であること、⑤トイレの位置、なども考慮しなければならない。

では、探鳥会の過程はというと、コース設定の下見と検討、決定、発表、事前下見、実施、反省会、改善、定着、となる。

今回は、秩父地方で新たな探鳥会コースを設定すべく、海老原副支部長とともに民宿に泊まり込んで歩き回ってきた。

## けもの道に迷い込んだ

8月12日午前10時、既に数日前から秩父入りしていた海老原副支部長と秩父鉄道武州日野駅前前で合流して、あらかじめ地図上で検討しておいたコース目指して出発した。

途中経過時間などを記録しつつ、地形をみて、この環境ならいつごろどんな鳥が生息しているか考えながら歩く。矢通反隧道を経て寺沢地区へ。やがて熊倉山登山道日野コースとの分岐点を過ぎて林道にはいった。

問題はこれから。海老原探検隊長が「おかしな、地図ではもっと広い道のはずだが」と言い出した。たしかに、2万5千分の1の地図ではちゃんとした道路となっているのだが、草に隠れて、かすかに道らしい跡が続いているだけだ。

草をかき分け、倒木を乗り越え、くぐり抜



秩父には、チヨチヨ・チチブチチブとさえずるホオジロがいた

けて進むうち、道が2つに別れている地点にでた。比較的道らしい様子のほうに行こうと意見が一致した。リスの食痕のあるクルミの殻などを見たりしていると、前方に割と新しい足跡がある。「人間じゃないよ。先が割れているから、鹿のようだ」「これはけもの道じゃないのかな」。遂に人の道を踏み外した2人だった。(なんのこっちゃ)

そのまま足跡をおって急な尾根道をくだると、沢にたどり着いた。流れを渡り対岸を登っていく鹿の道と別れて、沢ぞいにくだると、もとの林道の入り口に出てしまった。

近くで作業中の地元の人に聞くと、やはりこのコースは探鳥会には無理なようで、断念することとした。

炎天下の道を重い足取りで駅まで引き返し、冷たいものなど飲んで一休み。気を取り直して、今度は自動車で美の山公園にむかった。

美の山公園の頂上まで、探鳥コースに想定した道を登って状況を見る。なかなか良いところだが、徒歩で登るとしたら、時間がかかりすぎるのではないかと、などと昼食を食べながら話し合う。

昼食後には羊山公園へと車を走らせ、宿舎に落ち着いてからも翌日のコース検討と、いそがしく第1日目は終わった。

## 若御子峠であご出した

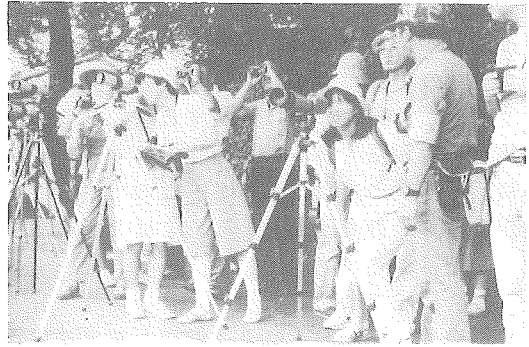
2日目は、浦山口駅から浦山ダム、若御子（わかみこ）峠を越えて武州中川駅に抜けるコースを下見。

ダムを過ぎると道はだんだん細く、急勾配となって、やな予感。あえぎあえぎ登る。前日まで残業につぐ残業をこなしてようやく休みをとってきた私は登りが苦手。数日前から山歩きをしている海老原隊長は、ただいま両足筋肉炎の真っ最中で下りが苦手。登りだ、下りだと騒ぎながら、とにかく登っていく。今さら途中で引き返せない。

峠近くに無人の民家が2軒。「若御子峠という名前からすると、戦乱の世を逃れた若君とその家来の子孫たちが住んでいたにちがいない」なんて勝手なことを言いながら杉木立にかこまれた峠で一休み。アオバトが鳴いた。

もうこのコースは探鳥会に不向きと決定しているので、下りの足の重いこと。流れる汗は目にしみ、何でこんな苦勞をと、ついボヤキも出る。地獄の下り坂だ、アソヨがイタイよ、と悲鳴をあげる隊長を見てせめて溜飲を下げる。他人の不幸は我が身の喜び。

武州中川駅にたどり着いて一息入れながら、どうも昨日の日野コースが気になる。寺沢地区から左に曲がり、日野溪谷を渡るコースは



参加者のかがやく目とはずむ声、これがリーダーにはなによりの報酬（8月16日・三室）

とれないものかと、再度挑戦することに決定した。

駅前に止めておいた車で日野地区へ。地図を見ながら走る。良いコースが出来そうだ。

溪谷の手前に車を止め、歩いてみる。溪谷を渡り、キャンプ場へ。トイレは、電話は、季節による管理状況は、管理事務所によって情報収集につとめる。そこにいたMさんは何と秩父愛鳥会の会員。好意的にいろいろ貴重な情報を教えてくれた。

すばらしいコースができた。今までの苦勞がむくわれた気がする。

## マムシに追い帰された

3日目は西武鉄道横瀬駅から羊山公園に至るコースに挑戦。

予定コースを草をかき分けて進むうち、短パン姿で両足むき出しの隊長が、長ズボンをはいている私に先に行けと言いだした。またまたいやな予感。

案の定、薄暗い小道に何やらうごめいているもの。良く見ると、小さいながらりっぱなマムシ。木の枝でどかさうとすると、するすると足もとへ。飛びさると後ろにも1匹。ようやく道をあけてもらい、先に進むが、どうもマムシの危険があるのでは、それだけで決定的に探鳥会コースとしては不合格。

冬に期待を残して引き返すことにした。用心しながら道をもとに戻る。

駅前の案内図と地図をにらめっこして、別

の道を探す。

人家に入り込んでしまっただけで引き返したりしながら歩いているうちに羊山公園に着いた。着いてみると、この道も意外といいコースじゃないか。これも成功。

心地よい疲労と満足感、数々のエピソードと思い出を残して、浦和に帰ってきた。

今回は3日かかってすばらしいコースを2つみつけた。これらのコースについては、今後、季節ごとの調査、普及部会議による検討、役員会議による決定、ほかのリーダーの習熟と事前下見、と進んでいくわけである。

来年から始まる予定の秩父の新コース探鳥会、乞うご期待!!

秩父愛鳥会の宮崎会長をはじめとする皆さん、いろいろお世話になりました。

## ~~~~~ 会員制度のご案内 ~~~~~

本年1月1日から出発した新会員制度、もうすっかりのみこめましたか。支部だけの会員というのは(ジュニア会員をのぞいて)ありません。野鳥の会に入会するという事は、同時に財団法人日本野鳥の会と日本野鳥の会埼玉県支部の会員になることなのです。

**正会員** 『野鳥』誌と『しらこぼと』の両方が毎月届きます。

年会費 6,000円、入会金 500円。

**普通会员** 『しらこぼと』だけが届きますが、本部会員としての資格があります。

年会費 2,500円、入会金 500円。

**支部賛助会員** 正会員と同じですが、特に支部を援助していただきます。本部の登録では正会員としての扱いになります。会費の納入方法については、支部事務局にご相談ください。

年会費 14,000円、入会金 500円。

**家族会員** 正会員、普通会员、または支部賛助会員の家族。『野鳥』誌や『しらこぼと』は正会員たちに届くものをごらんください。

年会費 500円、入会金 500円。

入会手続=郵便振替用紙の通信欄に、会員の種別、住所、氏名、電話番号、生年月日、職業を書いて、「東京 4-98389 財団法人日本野鳥の会」にお送りいただくのが便利です。

◇ ◇

ジュニア会員は、支部独自の、中学生以下だけが入れる特典的制度です。『しらこぼと』だけが届きます。本部会員としては登録されません。年会費 1,000円、入会金なし。

『野鳥』誌も読みたい人や本部会員として登録したい人は、正会員または普通会员として入会してください。また、高校生以上になったときは、あらためて正会員または普通会员として(入会金も払って)入会してください。

入会手続=郵便振替用紙の通信欄に、ジュニア会員であること、住所、氏名、電話番号、生年月日を書いて、「東京 9-121130 日本野鳥の会埼玉県支部」にお送りください。

(総務部)

## ~~~~~ タヌキ7頭 ~~~~~

タヌキの生息を確認したので報告します。最初に見たのは1987年8月21日午後6時10分。場所は越谷市桜井地区。巣穴は、四方をがんにょうなフェンスで囲まれた公共施設内にあり、地盤沈下によってできた建物と地面のすき間を利用している。フェンスは、結果的に犬と人間からタヌキを保護している。

頭数は、親2頭、子供5頭の計7頭である(写真は5頭しか写っていない)。したがって、今年繁殖したことはまちがいない。

周囲の環境は、三方は住宅地がおしよせ、一方は川に面している。

施設管理者と近所の人、タヌキの存在を知っており、特別めずらしく思っておらず、交流もある。

昼間は巣穴でくらし、夕方になると巣穴から出て来て、フェンスの下をくぐり餌をさがしに行く。行き先は、住宅地の残飯をすてている所や川のようなものである。

いつごろから住みついているかは不明で、



聞きこみでは、5年ほど前からという声最も強い。しかし、私の観察では、昭和53年にはったというセメントにタヌキの足あとを見つけており、いずれにしてもよくわからない。

目立つようになったのは去年の夏からのようで、子タヌキが残飯をあさっているところを目撃されたり、溝に落ちてないところを保護されたりしている(去年も繁殖)。

施設の管理者は、管理上さわがれることは極力さけたい意向であり、私も現在の風潮を考えるとそのほうがタヌキを守ることにつながると思う。

なお、越谷市での近年の生息記録は報告されていない(埼玉県1986年 埼玉の鳥とけものたち)。(文と撮影 山部直喜)



## 沖繩探鳥旅行記

北川 慎一 (本庄市)

夏休みを利用してこの夏、憧れの沖縄へ行ってきました。まず奄美大島に寄り道した私を最初に出迎えてくれたのはベニアジサシです。澄み切った空、コバルトブルーの海を飛ぶその姿の鮮やかなこと、よく見るとエリグロアジサシ、クロハラアジサシも。そして林の中ではルリカケス、夜の林道ではアマヤマツギにばったり出会いました。まずは幸先よし。いよいよ沖縄へ上陸。北部のヤンバルへ。日の出前に林道で待ちます。ポーアォーアォーというズアカアオバトの不気味な声が響きます。しばらくするとキョッという声が続いてドラミングの音。はやる心を抑えて双眼鏡で覗くと20m位離れた枯木にノグチゲラの姿。なんとも渋い色合いの体にしばし見とれていました。さらに谷沿いに進むとコマドリのような声。ひょこひょこ出てきたのはアカヒゲ。その成鳥で、その名の通り赤い顔に黒いのが印象的。さて、いよいよヤンバルクイナを求めて夜の山へ。沖縄野鳥研究会の比嘉さん達に同行させてもらい、サンルーフから首を出しライトを照らしながら進むと、コホッコホッと鳴くセレベスコノハズク、赤い眼を光らせるオオコノハズク。枝で眠るアカショウビンなどが次々に照らし出され興奮の連続です。ついにヤンバルクイナの姿。木



( 撮影・松井昭吾 )

の上に登って眠っています。3m位近づいても逃げようとしません。じっくり堪能しました。それにしても、聞いてはいたものの、ヤンバルの伐採はすさまじいものです。本当に心配です。次に石垣島へ。日本野鳥の会八重山支部の島袋さんにお世話になりました。一番見たかったキンバトを見ることができました。ハッとする程の美しさに言葉もありませんでした。また、牛の放牧場ではズグロミゾゴイの神秘的な瞳に魅かれてしまいました。最後に西表島でカンムリワシを見て帰ってきました。鳥だけでなく珊瑚礁の海に潜り体のまわりを乱舞する熱帯魚をウォッチングしたり、沖縄料理に泡盛でごきげんになったり本当に素晴らしい旅でした。

8月末の暑い午後、路地を歩いていたところ、ヒヨドリが争っていました。立ちどまって見ていると、なんと、私の目の前へやって来て、じっくりとケンカを見せてくれました。(でも、内バはこわかった)



押川 歳子 (蕨市)

### ごめんなさい、訂正しますコーナー

前月号(第40号)2、3ページ「WANTED!!」の執筆者名が落ちていました。与野市の石井智さんです。

6ページ〔9月の見どころ〕の執筆者が海老原美夫さんとなっているのは誤りで、この欄は毎月藤原寛治さんが担当しています。

7ページ「キガツラセキレイの観察」の執筆者が浦和市の海老原美夫さんです。

# 野鳥情報

- ササゴイ ◇7月13日～21日、鶴ヶ島町高倉の林の池尻池で若鳥1羽(宮内武昭)。  
アマサギ ◇8月26日、越谷市増林で5羽(山部直喜)。  
マガモ ◇7月5日、鶴ヶ島町高倉の林の池尻池に♂1羽(エクリプス羽)(宮内武昭)。  
シロチドリ ◇8月2日、渡良瀬遊水池(南側水門下の埋立地の水溜り)で2羽(中島康夫)。  
トウネン ◇8月2日、渡良瀬遊水池で40羽(中島康夫)。  
ヒバリシギ ◇8月17日、越谷市増林で1羽。背中のでV字形が良く見えた(山部直喜)。  
オジロトウネン ◇8月2日、渡良瀬遊水池で2羽(中島康夫)。  
アオアシシギ ◇8月2日、渡良瀬遊水池で1羽(中島康夫)。  
タカブシギ ◇8月2日、本庄市の阪東大橋下流で2羽(林 滋)。◇8月2日、渡良瀬遊水池で11羽(中島康夫)。◇8月6日、杉戸町倉松の第2小学校近くの休耕田で20羽(秋間利夫)。◇8月17日、浦和市大谷口の遊水池で2羽(近藤 崇)。◇8月17日、越谷市増林で20羽(山部直喜)。  
キアシシギ ◇8月10日、浦和市大谷口の遊水池で2羽(近藤 崇)。  
ソリハシシギ ◇8月2日、渡良瀬遊水池で2羽(中島康夫)。◇8月17日、越谷市増林で2羽(山部直喜)。  
セイタカシギ ◇8月6日午後5時、杉戸町

## 【10月の見どころ】

秋風と共に、皆さんの周りの河川、湖、遊水池などに、カモの群れが渡ってきます。早いものは9月中にやってきていますが、本格的な渡来は今月からです。北の国からやってきたばかりのカモ達の大部分の雄は、エクリプスという雌と同じような茶色の地味な色を

倉松の第2小学校近くの休耕田で1羽(秋間利夫)。

ウミネコ ◇7月19日、本庄市の阪東大橋下流で1羽(林 滋)。◇8月2日、秩父郡吉田町の赤平川で1羽(今井明巨)。

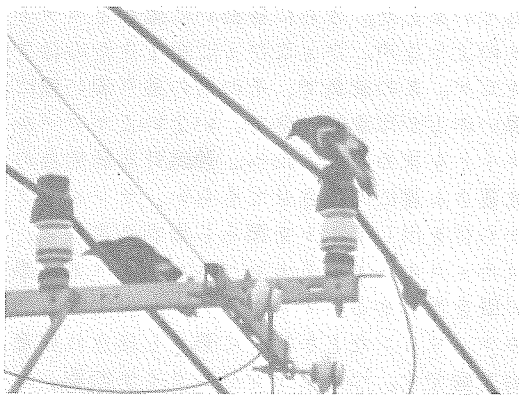
アオバト ◇7月10日、鶴ヶ島町高倉の林で鳴き声を聞く(宮内武昭)。

アオバズク ◇7月18日、児玉町八幡神社で2羽(林 滋)。◇7月18日、児玉郡美里町の東大沢神社で1羽(林 滋)。

アマツバメ ◇7月1日、鶴ヶ島町高倉の林上空を6羽通過(宮内武昭)。

ツバメ ◇7月31日、富士見市の柳瀬川左岸のヨシ原で約2千羽の罅を形成していたが、8月12日以降、2～3回、ヨシ原の刈り取りが行なわれた。半分位のヨシ原が残されたが、その影響で8月27日現在、罅に帰ってくるのは100羽程度に減ってしまった(藤原寛治)。

アカハラ ◇7月7日～8日、鶴ヶ島町高倉の林で鳴き声を聞く(宮内武昭)。



9月号野鳥情報 部分白化のハシボソガラス (撮影・簗輪真澄)

していますので、なかなか種類を見わけるのは、難しいと思います。でも、大きさ・飛んだ時に出る翼の模様・くちばしの色など図鑑とじっくり比べて見て下さい。小鳥類と違い、カモはゆっくり観察できますから、できれば、同じ場所に何回も行って、くり返し較べて見て下さい。何度も見ることにより、だんだん違いが、見えるようになってくるはずですよ。

10月には、山の鳥も里においてきます。山

で繁殖を終えた、ビンズイ・アオジ・アカハラなどの鳥たちの姿が、里でも見えてくる頃です。また、シメやジョウビタキ・カシラダカ・ツグミなどの冬鳥の第一陣も、この時期にやってきます。

こういった鳥たちを初めて見つけた日のことを初認日といいますが、毎年の初認日を記録しておく、季節の動きが、野鳥を見ることによっても、実感としてわかります。皆さんのフィールドでの初認情報をお待ちしています。  
(藤原寛治)

## 【シジュウカラの繁殖の確認】

山部直喜(越谷市)

1987年越谷市の越ヶ谷小学校中庭において、シジュウカラの巣作りから巣立ちまでを継続して観察した。越谷市におけるシジュウカラの繁殖の確認は、初めてと思われるので観察記録の概要を報告しておく。

- 3月15日、越ヶ谷小学校中庭のシラカンバに巣箱をかける。
- 3月20日、巣箱の底の四隅に苔類が運ばれていた。
- 3月30日、獣毛・羽毛・毛糸などを5cmほどの厚さに敷きつめ、入り口から最も奥に産座ができていた。
- 4月11日、産座に9個の卵を数える。
- 4月13日、続いて17日と20日に抱卵している成鳥を確認する。
- 4月27日、目のあいていないヒナ9羽を確認する。卵殻はなかった。
- 4月29日、成鳥雄雌が、盛んに巣箱に餌を運ぶ。時々、ヒナのフンを運搬していた。
- 5月3日、羽の生えそろったヒナ9羽を確



前で写真うつしている人、ジャマよ

認する。

- 5月11日、8:45から9:15の間にヒナ6羽が、成鳥雄雌に促されるようにして巣立ちした。17:00、巣箱の中を調べたが、一羽も残っていなかった。

越谷市付近の春日部市・草加市・八潮市・松伏町・吉川町などでも繁殖の記録はないようだが、その可能性は充分あると思われる。

### ＜参考文献＞

- 環境庁. 1981. 日本産鳥類の繁殖分布
- (財)埼玉県野鳥の会. 1986. この鳥を捜そう。『野鳥さいたま』№93: 4-7
- 越谷市市民生活環境保全課. 1986. 越谷市環境保全区域指定調査報告書

### 表紙の写真

#### ノビタキ(ヒタキ科ツグミ亜科)

春の渡り途中や高原で出会うノビタキより、秋の彼らのほうが、何か優しく思うのは、私だけでしょうか。

この写真は3年前に高麗川の巾着田で撮影したのですが、この野菊の原は、いまでは

あまり使用されない野球場に変わってしまいました。

あの野原で羽根を休めていた彼らは、今はどこで羽根を休めているのでしょうか。

(写真と文・金井祐二)



### 熊谷市・大麻生探鳥会

期日：10月11日（日）  
 集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前  
 交通：高崎線大宮8：07（または8：15）発  
 →熊谷8：53（または8：59）着、秩  
 父鉄道乗換え、9：04発→大麻生9：  
 12着／ 寄居9：01 発→大麻生9：19  
 着  
 解散：午後1時ごろ  
 担当：鈴木忠雄、今井明巨  
 見どころ：秋風の吹く河原を散歩してみませ  
 んか（Ⅲ）。南へ渡る夏鳥の姿もこの  
 あたりが見納め。くりくり目玉の小鳥  
 達にお別れのあいさつをしましょう。  
 そしてそろそろ気の早い冬鳥の顔触れ  
 も見えるころです。

### 浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：10月18日（日）  
 集合：午前8時15分 北浦和駅東口、または  
 午前9時 浦和市立郷土博物館前  
 （北浦和駅の場合、その後バス利用）  
 解散：午後1時ごろ  
 共催：浦和市立郷土博物館（参加費無料）  
 担当：楠見邦博、福井恒人、渡辺周司  
 見どころ：深まる秋の見沼田圃。高い空の下  
 で、冬鳥の第一陣を探しましょう。ユ  
 リカモメにジョウビタキに……。猛禽  
 類の姿も見えるようになる季節です。

秋たけなわ。野外へ出たくてうずうず。そ  
 んなあなたに、夏鳥旅鳥の後ろ姿と、近付い  
 てくる冬鳥の足音を楽しんでいただきたいくて、  
 今月も探鳥会に御案内します。

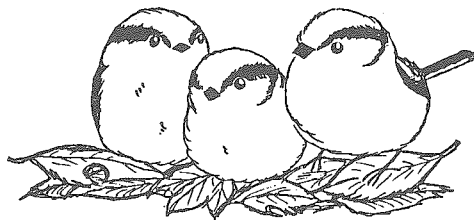
持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、  
 （もしあれば）双眼鏡などです。

参加費は、一般＝100円、会員及び中学生  
 以下＝50円。予約申し込みは必要ありません。  
 小雨決行です。

夢中になり過ぎて、鳥を驚かしたり、植物  
 を荒らしたりなどしないように。いつもフィ  
 ールドマナーをお忘れなく。

### 浦和市・秋ヶ瀬探鳥会

期日：10月25日（日）  
 集合：午前9時 浦和駅西口バスロータリー  
 （その後現地までバスを利用）  
 解散：午後1時ごろ  
 担難：福井恒人、海老原美夫  
 見どころ：秋の鳥から冬の鳥へ。ムナグロ等、  
 南へ渡るシギ・チドリ姿が見納めと  
 なります。一方、ジョウビタキやアオ  
 ジ、シメ等冬の小鳥達が到着し始めま  
 す。抜けるような空にチョウゲンボウ  
 が舞えば、言うことなし。



### 『しらこぼと』袋づめの会

とき：10月31日（土） 午後1時～3時ごろ  
 会場：浦和市立コミュニティーセンター2階  
 第2講座室（浦和駅西口から県庁通り  
 を西進、中山道を左折して約600m右  
 側）  
 案内：わいわい賑やかにおしゃべりが楽しめ  
 て、支部の活動に貢献できて、おまけ  
 に耳寄りな情報まで飛び交って。



### 野鳥写真クラブ定例会

とき：10月31日（土） 午後3時ごろ～5時  
会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ  
案内：写真の勉強がしたい、スライドを見たい、見せてあげたい……人皆おいで。



### 吉見町・吉見百穴周辺探鳥会

期日：11月1日（日）  
集合：午前9時30分 東武バス停百穴入口前  
交通：東武東上線東松山駅東口8：58発または高崎線鴻巣駅東口東海銀行前8：50発（大宮8：15発→鴻巣8：43着、熊谷8：24発→鴻巣8：39着）のバス利用。

解散：午後1時ごろ  
担当：榎本秀和、乗田実  
見どころ：いらっしゃいませ、タゲリさん（Ⅰ）。広々とした田圃に今冬もタゲリ軍団がやって参りました。冬鳥シーズン、今年も華やかに幕開けです。カモさん達のきれいな衣装も増えてきます。

### 富士見市・柳瀬川探鳥会

期日：11月1日（日）  
集合：午前9時 東武東上線柳瀬川駅前  
交通：武蔵野線南浦和8：21発→北朝霞8：32着、東武東上線乗換え、朝霞台8：49発→柳瀬川8：54着／東武東上線川越8：42発→柳瀬川8：57着  
解散：午後1時ごろ  
担当：藤原寛治、長谷キミ子、黒田佳子  
見どころ：いらっしゃいませ、タゲリさん（Ⅱ）。タゲリさんの御登場となると、水辺もいよいよ本格的に冬鳥の季節ですなあ。ツグミさん達も盛んに冬の声をあげているでしょう。

### 川口市・差間探鳥会

期日：11月3日（祝）  
集合：午前9時 武蔵野線東浦和駅前  
交通：武蔵野線南浦和8：52発→東浦和8：56着  
解散：午後1時ごろ  
担当：楠見邦博  
見どころ：晩秋の休耕田の散歩はいかがですか。シメ、ツグミ、カシラダカ等しぶい冬の主役が揃いました。高い高い空から獲物を狙う姿は……？

### 熊谷市・大麻生探鳥会

期日：11月8日（日）  
集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前  
交通：秩父鉄道熊谷9：04発→大麻生9：12着／秩父鉄道寄居9：01発→大麻生9：19着  
解散：午後1時ごろ  
担当：鈴木忠雄、今井明巨  
見どころ：初冬の青空を映して流れる荒川の川筋をカワセミのブルーが走り……。

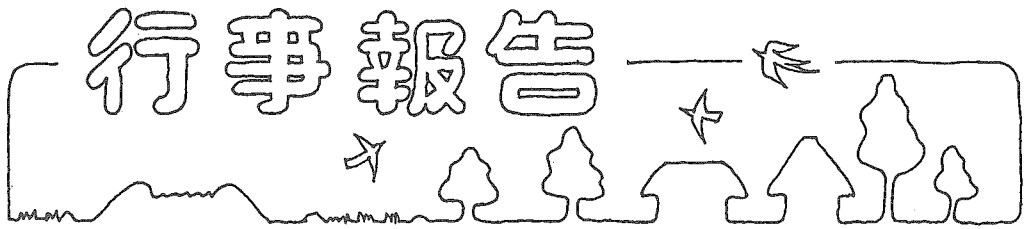
### 栃木県・奥日光探鳥会

期日：11月14日（土）  
集合：午前6時50分 大宮駅東武線改札口前または、午前7時35分 春日部駅日光方面行きホーム最前部  
交通：現地までは東武鉄道快速（浅草7：10発→春日部7：43発→東武日光9：13着）、および東武バス利用。東武各駅で日光フリーパスをお求めください。  
帰路：東武鉄道快速（東武日光17：50発→春日部19：20着）利用の予定  
担当：中島康夫、楠見邦博  
見どころ：冬の小鳥を探してのんびりハイキング。防寒、足元の準備はしっかりと。

---

11月15日（日） 浦和市・三室地区探鳥会  
11月22日（日） 桶川市・川田谷探鳥会  
11月23日（祝） 浦和市・さぎ山探鳥会  
11月29日（日） 坂戸市・高麗川探鳥会  
（カット＝鈴木加代子、鈴木高士）

# 行事報告



8月1日(土)講演会『シマチュウの野鳥の世界』 人 80人

アノ、嶋田忠さんの話を聞きたくて、予想をこえる人々が集まり、世話人は、補助椅子運びに大いそがし。

クーラーはきいているけれど、あつい思いに満たされた室内。なごやかに講演会ははじめられた。

暑い暑いマレーシアの話。汗の話。北海道の話。自宅庭のレンジャクの話。

ただおもしろかったばかりではない。ウウム、キラリ、が随所に光る。「自然を保護するという言い方より、ほころびさせてしまった自然の回復を、ちょっと手伝わせてもらうという考え方が必要」とキラリ。「鳥は命がけ。それをただかわいいなどというのは見下しているわけで、私の写真は、命がけの鳥たちと対等な立場に立った闘争の結果なのだ」ウウム。

その世界の広さ、深さ、強さに圧倒され、あっという間に過ぎた2時間だった。

写真集の完売に事業部のえびす顔。サインしてもらった人のニコニコ顔。

その後の有志との懇親会にもこころよくおそくまでつきあってくれて、嶋田さん、本当にありがとうございました。



シマチュウさんも参加者もニコニコ顔

8月9日(日) 川本町 大麻生明戸

人 15人 天気 晴 鳥 カイツブリ  
 コサギ カルガモ オオタカ パン コチドリ  
 キアシシギ イソシギ コアジサシ キジバト  
 カワセミ ヒバリ ツバメ キセキレイ  
 セグロセキレイ ヒヨドリ モズ セッカ  
 ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ  
 ハンボソガラス(23種) 久しぶりに真夏の太陽が戻って来た河原は、暑くて暑くて大変。みんなカワセミになって、川にダイビングしたい気持ち!でも、キアシシギが「もうすぐ夏が終わるよ。」と元気づけてくれた。

8月16日(日) 浦和市 三室地区

人 47人 天気 晴 鳥 ササゴイ チュウサギ  
 コサギ コジュケイ キアシシギ イソシギ  
 キジバト コゲラ ツバメ イワツバメ  
 ハクセキレイ ヒヨドリ オオヨシキリ  
 セッカ ヤマガラ シジュウカラ ホオジロ  
 カワラヒワ スズメ コムクドリ ムクドリ  
 オナガ ハンボソガラス ハシブトガラス(24種)  
 涼を求めた見沼用水沿いのコースは、用水と緑濃い斜面林のながめがすばらしい。林では、コゲラ、ヤマガラ、シジュウカラの混群が印象的であった。芝川では、チュウサギがコサギと並んで比較ができ、秋の訪れを告げるキアシシギも1羽姿を見せた。

8月23日(日) 千葉県習志野市 谷津干潟

人 150人(埼玉県支部23人) 天気 雨後曇  
 鳥 ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ  
 シロチドリ メダイチドリ ムナグロ  
 ダイゼン キョウジョシギ トウネン  
 ハマシギ コオバシギ オバシギ キリアイ  
 コアオアシシギ アオアシシギ タカブシギ  
 キアシシギ イソシギ ソリハシシギ オオソリハシシギ  
 ダイシャクシギ ホウロクシ

ギ チュウシャクシギ ウミネコ コアジサシ キジバト ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ セッカ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス(37種) 現地に着いた時はどしゃぶりの雨。どうなることかと思っていたら、まもなくやんで、ちゃんとどうにかなった。いつものことだが、谷津干潟は、あっちにキリアイ、ほらむこうがコオバシギと、実に忙しいところだ。近県7支部プラス奈良県からの参加者もいて、にぎやかな探鳥会。千葉県支部の皆さん、お世



千葉県支部心づくしのアサリの味噌汁  
何と6杯もおかわりした人も

話様でした。

## 8月30日(日)第4回リーダー研修会

□ 30人

講師・藤本和典(本部普及部)

初めての受講者・金井祐二、小林恒雄、杉本秀樹、手塚正義、登坂久雄、林 滋、羽石幸子、藤野富代、簗輪左知子、簗輪真澄、宮内武昭、横山みどり、吉田二三子、渡辺敦、渡辺孝章 以上15名

2回目以上の出席者・赤瀬征雄、浅田徳次、海老原教子、海老原美夫、榎本秀和、木村義人、楠見邦博、楠見文子、黒田佳子、中島康夫、乗田実、福井恒人、藤原寛治、渡辺周司 以上14名

この日、15名もの新リーダーが、予定を1時間オーバーして合計約6時間の熱気あふれる研修を経て、一気に、孵化から巣立ちまでを成し遂げた。

今後各所で新リーダーの羽ばたきが見られるはずですが、もし飛ぶのに失敗してどこかの道端にバツリ落ちているのがいましたら、どうぞちょっと手を貸してやってください。

## 参加者の声

### 『しらこぼと』袋づめの会

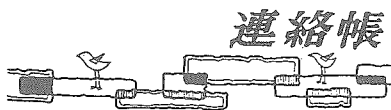
藤野 富代(浦和市)

今日も又猛暑だ。自転車のペダルを踏む足も重く? コミュニティーセンターへ。早く『しらこぼと』を見たい、珍しい鳥の話も聞けるかもしれない、などなど、これが私の袋づめ参加の下心です(不純ですね)。何回かお手伝いして大変だなあと感じます。いつも遠路はるばるお見えになる方もいらっしゃいます。私など市内在住の身、日頃お世話になっているのですからこれくらいのお手伝いは時間が許す限りいつでもどうぞ。一寸大きく出てしまいました。

さて、いつもながらの老若男女(老は私の事)、手順でさばきもよろしく、カルタ取り(名簿と封筒の照合のこと)の声も元気良く、和気藹々と袋づめ作業も楽しいおしゃべりと共に終わります(おしゃべりする人は決まっ

ているのですぞ。静かだとやっぱり変ですネ)。有志の差し入れで一杯(オサケではありません)。

そして、いよいよ「スライド」。未だ日の浅い私にとってこれが又楽しみの一つです。でも悩みもあるんですよ。可愛い中学生の先輩に色々話しかけられます。フンフン等と調子を合わせていますが、難しい話になったらどうしようと1年生の私は実のところ内心ビクビクしているのであります。この日の可愛い先輩は写真を見せてくれました(よかったー)。しかし、いつも参加して思うことは、暑さにもめげず袋づめのお手伝いをされる方たちは本当に鳥が好きなんですね。御多分にもれず私もそうなんです。初めてでも気軽に参加できる雰囲気、目に見えない縁の下の力持ちがいらっしゃるのでしょう。『しらこぼと』袋づめで少し感じた事を記させていただきました。



### ウトナイ湖の千歳川放水路問題

#### 緊急アピール集会

ウトナイ湖サンクチュアリがまたもや危機に立たされています。

本誌でも1984年11月、12月号、1985年3月号の3回にわたって掲載した千歳川放水路問題が再燃してきたのです。

千歳川が洪水の原因との理由で、幅450mもの放水路を造り、千歳川の水を太平洋に導こうという計画で、西、中間、東の3ルート案がありました。3ルートともに、ウトナイ湖の水源、美々川の源流部を破壊します。西ルート案では、ウトナイ湖を直撃さえするのです。

この無謀な計画から日本の自然保護運動のシンボルとも言えるウトナイ湖サンクチュアリを守ろうというのが、先に本誌でもとりあげた葉書作戦だったのです。

その運動などが効を奏してしばらく動きがなかったのですが、ウトナイ湖や美々川の保全策がなんら示されないまま、突然、北海道開発庁が東ルートの決定を発表し、来年度にも着工するべく、8月末にも予算を要求する動きが出てきました。

日本野鳥の会では、8月20日、都内渋谷区の青学会館にて緊急アピール集会を開き、集会後、建設・大蔵・環境などの各省庁へ陳情を行ないました。(『野鳥』誌9月号に既報)

当支部では、今井昌彦支部長と海老原美夫

題字『しらこぼと』=山下静一(財)日本野鳥の会会長、イラスト見出し=鷹尾正済(p5, 6, 12, 表紙デザインも)・鈴木加代子(p8) 渡辺周司(p10)

本部評議員の連名でメッセージを送り、集会には海老原教子会員が出席しました。

ウトナイ湖サンクチュアリを守るために、皆様のご協力をお願いします。

#### ご寄付ありがとう

次の方からご寄付をいただきました。

笠井 実さん 20,000円(続けて毎月20,000円ずつご寄付いただいています)

#### 会員数は

9月20日現在762人です。

### 活動報告

8月10日 本部からの送金表、宛名ラベル紙などにもとづき、会員名簿を整理。17日、22日、29日も。

8月10日 『しらこぼと』9月号入稿(山部直喜)。

8月16日 編集部会議、事務局問題検討委員会。

8月22日 研究部会議。29日も。

8月22日 『しらこぼと』9月号校正(大武昭雄、西城戸司、森本國夫)。25日も。

8月25日 中島康夫普及部長リーダー研修会について打ち合わせ。



支部第4回のリーダー研修会が、8月末の日曜日に開かれました。今回は、30名の参加者で、新しい参加者16名でした。第1回より数えて、55名の参加者となりました。夏の暑い盛りの日曜日、今までの参加者の名前をみて、その人それぞれの力を、支部発展につくしていただけるのを思い、汗ももつかぬものが頬を流れました。明日から、フィールドに出ようと思います。(補見邦博)

『しらこぼと』1987年10月号(第41号) 定価 100円(会費に含まれます)  
発行人 今井昌彦 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 ☎0488(32)4062  
〒336埼玉県浦和市岸町4丁目26番8号プリムローズ岸町107号 郵便振替東京9-121130  
印刷 望月印刷株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断りします)